

英国食品基準庁（FSA）一般消費者向けに鳥インフルエンザと、鶏肉や卵の安全性についての Q&A の更新版を公表。

<http://www.food.gov.uk/multimedia/webpage/birdflu/birdflufaq/>

（概要仮訳）

英国食品基準庁（FSA）は「鳥インフルエンザ：あなたの質問にお答えします」と題して鳥インフルエンザと鶏肉や卵の安全性についての Q&A の更新版（2006/3/15）を一部改めて公表している。概要は以下のとおり。

### **鳥インフルエンザ：あなたの質問にお答えします**

現在の科学的な事実によると、英国の消費者に対して鳥インフルエンザの食品安全性のリスクはないと言える。ヒトに感染するリスクは、感染している生きた鳥に密に接触することによっておこり、加熱調理した鶏肉や卵の摂取では発生しない。

Q: それは、どのような根拠に基づいているのか。

A: 現在の助言は WHO、EFSA、ACMSF の顧問を含む科学的背景を持つ世界中の専門家の意見に基づいている。FSA は 8 年前に極東で初めて鳥インフルエンザが報告されたときから監視を続けてきている。この間の多くのヒトの症例では感染鳥と密に接触をしている。FSA は出来る限り最新の情報と証拠を監視し続けてきた。FSA は FSA からの助言の更新につながるどのような情報についても、今後も偏見を持たずに受け入れていく。現在までの科学的見解では、鳥インフルエンザは食品安全性のリスクとはならないという意見が一致している。

Q: 感染した家きんや卵がフードチェーンに入ることを防止する対策は取られているか。

A: 野鳥や家きん群に鳥インフルエンザが発生した場合、関係当局は疾病の拡散防止の規制措置を取ることが求められる。これらの措置により、感染鳥や卵がフードチェーンに入る可能性を極小化している。FSA は感染した製品がフードチェーンに入るリスクが低いことを考慮して消費者向けの助言を作成しており、仮に鳥インフルエンザが英国で発生したとしても、FSA の見解である「英国の消費者にとって鳥インフルエンザは食品安全性のリスクにはならない」が現在も有効である。

Q: 感染国から家きん肉や卵の輸入を停止する管理措置は取られているか。

A: 鳥インフルエンザに感染した非欧州連合(EU)加盟国からの生きた鳥類、家きん肉、卵の輸入を制限する措置が取られている。EU 加盟国で野鳥または家きん群に鳥インフルエンザの大量発生が生じた場合は、欧州共同体内での貿易は続けられるが、加盟国の感染地域からの家きんや家きん製品の取引は、動物の健康保護のため制限される。これらの管理措置により、感染した家きん肉や卵が、感染のあった非 EU 加盟国や EU 加盟国のフードチェーンに入る可能性を極小化している。FSA は感染した製品がフードチェーンに入るリスクが低いことを考慮して消費者向けの助言を作成しており、仮に鳥インフルエンザが英国で発生したとしても、FSA の見解で

ある「英国の消費者にとって鳥インフルエンザは食品安全性のリスクにはならない」が現在も有効である。

Q: 調理していない家きん肉に触れるのはどうか？

A: FDA が言い続けている助言は、微生物汚染しないよう、生の家きん肉や卵を扱ったあとは常に手をよく洗うことである。家きん類に鳥インフルエンザが発生している国においても、手洗いがウイルス感染予防の一助となる。

Q: 家きん肉や卵を適切に加熱調理することでウイルスは死滅するのか。

A: 十分に加熱調理することで細菌やウイルスは死滅する。食中毒を防ぐために家きん肉や卵は常に適切に加熱調理することである。仮に英国で鳥インフルエンザが発生した場合でも、家きん肉や卵の下準備、加熱調理及び摂食に関する FSA の助言は適切といえる。

家きん肉を調理する時は、調理方法の指示に従うべきである。鶏又は他の鳥を丸ごと調理する時は、脚の一番太い部分（ドラムスティックとももの間）を清潔なナイフで切るか、串で刺して、肉汁が透明になるまで調理する。肉汁がピンク色又は赤色の段階で止めてはいけなし、肉にピンク色の部分が残ってはいけなし。

生卵を食べたり、加熱調理しない料理に生卵を用いない。卵は卵白が固まるまで加熱調理するべきである。

Q: この助言は WHO の助言とは異なるのはなぜか。

A: 世界保健機関は卵を調理するときには卵黄と卵白が固まっているようにと助言している。FSA はこの件について WHO と話し合い、この助言は万一のための予防策であることを確認した。卵の調理についての WHO の助言は、世界中のあらゆる地域における全ての細菌やウイルスについて適用されるものである。

英国では、中立の専門家の助言により、鳥インフルエンザウイルスの曝露を防ぐのに卵黄が硬くなるまで加熱調理する必要はないと確認している。

Q: ワクチン接種した家きん肉又は卵の摂取は安全か。

A: 鳥インフルエンザ感染を防ぐために鳥に接種するワクチンには、健康に対する心配はない。

製造承認のある認可ワクチンを使用し、ワクチン接種とと殺や産卵日に適当な間隔を空けることが求められる。

ワクチン接種された動物や鳥の肉や卵に、ワクチン接種を表示したラベル貼付は要求されていない。

以上